

学部学生の皆さんへ

東京医科歯科大学保健管理センター

年末年始における注意喚起

！注意！風邪症状による出席停止について

【年末年始の大学への報告方法】は、この通知の最後に記載しています。

COVID-19 検査「陽性」、および新型コロナウイルス感染症を疑う症状がある場合の「**出席停止**」について、**2024年1月中旬頃より規定・報告方法を変更する予定です。運用開始前に、infoなどでお知らせしますので、十分に確認するようにしてください。**

最近、風邪症状による欠席について、大学がお願いしている報告や受診・検査を遵守しない学生が散見されます。出席停止はあくまで、大学内での感染拡大防止のために行っていますので、症状が出た時点での速やかな対応が必須となります。出席停止は、欠席日数を保証するための制度ではありませんので、大学の規定、保健管理センターからの指示に沿った速やかな対応をお願いします。

1. 新型コロナウイルス感染症の患者は、増加しています。

11 月末より、3 週連続の増加で、前週に比べると全ての都道府県で患者は増加しています。

年末年始の人の移動に伴い、更に増加することが予想されています。

2. 「手洗い」、「換気」、「マスクの効果的な場面での着用」など基本的な対策に取り組みましょう。

日頃より自身の体調も確認し、風邪症状がある場合にやむを得ず外出する際は、人込みを避け、短時間の外出、マスクの着用などを人に感染させない事にも気を付けましょう。高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば重症化リスクも高まります。医療系大学で学ぶ学生であることを自覚した行動をお願いします。

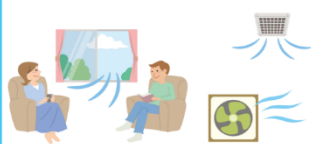
3. 風邪症状がある場合は、医療機関の受診や、COVID-19 検査・インフルエンザ検査をしましょう。

COVID-19 検査、インフルエンザ検査は、発症後すぐでは正確な結果が得られにくいとされています。発症後 24 時間以降に検査するようにしてください。

感染対策のポイント

帰省等で高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、**感染予防を心がけ体調を整えるようにしましょう。**高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば重症化リスクも高まります。

通院や高齢者施設を訪問する時には、感染予防としてマスクの着用が効果的です。



※事業者の判断でマスク着用を求められる場合があります。

【年末年始の大学への報告】

① コロナ陽性と診断された場合

速やかに所属教務係へ報告してください

大学からの連絡は 1/4 となりますが、「発症日をゼロ日として 5 日を経過し、かつ症状軽快した翌日まで」は、登校および課外活動への参加はしないでください。

② インフルエンザ陽性と診断された場合

速やかに所属教務係へ報告してください。

大学からの連絡は 1/4 となりますが、「発症日をゼロ日として 5 日を経過し、かつ解熱した翌々日まで」は、登校および課外活動への参加はしないでください。

② 大学規定の症状があり、コロナ陰性もしくは未検査の方

●2023/12/28～2024/1/2 に症状がある場合

この期間内に症状が消失していれば、大学への報告は不要です。ただし、風邪症状がある場合、無理をせずに医療機関を受診してください。

●2024/1/3 時点で、症状がある場合

1/3 に所属教務係へ報告し、1/4 は登校せず、その後の保健管理センターからの指示に従ってください。

●2024/1/4～症状がある場合

症状出た当日中に教務係へ報告し、その後の保健管理センターからの指示に従ってください。

【大学の既定の症状】

・以下の A と B を満たすとき

A) 37.0 度以上の発熱がある。

※寝起きの熱がこもった状態での測定では高く出ます。数回測定するようにしてください。

B) ①喉の痛み、②咳・痰等の呼吸器症状、③倦怠感のいずれか1つ以上ある。

・B)の症状がなくても 37.5 度以上の発熱が続くとき